



前橋市児童文化センターにて

文教警察常任委員会

委員長：安孫子哲、副委員長：泉沢信哉
委員：岩井均、福重隆浩、岩上憲司、
星名建市、角倉邦良、臂泰雄、
金井康夫、金子渡

◎県内調査

★平成30年8月23日（木）

①国立研究開発法人理化学研究所放射光科学研究センター（兵庫県佐用郡佐用町）

先駆的研究や国内外の大学及び国立研究機関・産業界の研究機関と多彩な研究協力を推進している同施設の運用状況や、産学官連携の取組について調査を行いました。
②大阪府庁（大阪府大阪市）

自転車に関する交通安全対策の参考とするため、自転車と歩行者の安全確保を目的とした自転車通行空間を整備している同府の取組について調査を行いました。
③権現ダム太陽光発電所（兵庫県加古川市）

保有する土地やダムの堤体に太陽光発電施設を整備する「メガソーラープロジェクト」について、同施設における取組や発電施設の運用状況について調査を行いました。
④キリンビール株式会社神戸工場（兵庫県神戸市）

産業観光の取組の参考とするため、全国に9箇所ある同社のビール工場の中で最も来場者数が多い同工場の取組について調査を行いました。

○前橋市児童文化センター（前橋市）

子どもたちの「学び」と「遊び」の活動交流拠点として平成25年にリニューアル整備された同センターの、子どもたちの心身の健全育成を図るための取組や施設運営の特徴、各種機関等との連携状況について調査を行いました。

◎県外調査

★平成30年7月24日（火）～26日（木）

①岩手県立図書館（岩手県盛岡市）
魅力・特色のある図書館づくりの参考とするため、指定管理者制度を導入し、75万冊を超える蔵書をはじめ豊富な資料を有している同図書館の取組について調査を行いました。

②岩手県教育委員会（岩手県盛岡市）
同教育委員会が教員の多忙化解消・負担軽減に向け導入している「部活動指導員」の配置や、県立学校へのタイムカードの導入について調査を行いました。
③北海道教育大学附属函館中学校（北海道函館市）

生徒全員が常時タブレット端末を学習に活用できる環境を整備するなど、同校の時代の最先端をいく教育内容や学校教育におけるICT機器の有効活用について調査を行いました。
④宮城県警察本部（宮城県仙台市）

車両の通行する部分が環状の交差点である環状交差点（ラウンドアバウト）整備の先進県である同県の整備状況を参考とするため、同交差点の整備に至る背景や取組等について調査を行いました。

特別委員会（県産品需要拡大特別委員会、弱者・高齢者対策特別委員会、公共交通・観光振興特別委員会、ぐんまの雇用戦略特別委員会）も、必要に応じて県内・県外で調査を行っています。

委員会の県内調査・県外調査の状況は、県議会ホームページに掲載されています。ぜひご覧ください。

質疑及び一般質問

平成30年9月21日、25日、27日に開催された本会議（質疑及び一般質問）では、次の議員が質問を行いました。

質疑及び一般質問の映像はこちら



○質疑及び一般質問の中から一部を掲載します。

9月21日（金）

◎今後の危機管理対応について
自由民主党 大手 治之

Q 全国で相次ぐ自然災害と、県防災ヘリの事故を踏まえ、今後の危機管理対応にどう取り組んでいくのか伺います。

A 今回の防災ヘリの事故により、県警ヘリや近県7県から支援を受けていますが、広域性と機動性を有する防災ヘリは、本県に欠くことのできないものと考えています。今後の危機管理対応については、消防、警察、自衛隊等の防災関係機関との連携強化、広域的な相互応援体制の充実、本県の防災体制の充実・強化を図りながら、県民の生命や財産を守ることを最優先に、常に危機意識を持って対応していきます。

◎財政健全化に向けた取組方針について
リベラル群馬 後藤 克己

Q 財政健全化に向けた取組方針を策定すべきと考えますが、いかがでしょうか。

A 現在の財政状況は、実質公債費比率や健全化基準を大きく下回っていますが、引き続き財政の健全性を維持していくことが必要であるため、総合計画及び行政改革大綱に「健全な財政運営の維持」を掲げ、その実現に努めています。今後も持続可能な財政運営を維持するためには、将来を含めた歳入歳出の見通しを踏まえた対応が必要となってきたことから、現在、中期的な財政見通しの作成を進めています。

◎高校におけるICT環境の整備状況について
自由民主党 今泉 健司

Q 全国的にも、自治体によってICTの整備状況は異なりますが、県内の高校の整備状況を伺います。

A 国の整備方針では、教室にプロジェクタ等大型提示装置の常設や無線LAN環境の整備が示されていますが、県内公立高校の無線LAN整備率は7.4%で、全国平均の22.5%を下回り、大型提示装置の充足率は27.8%にとどまっています。今後は、生徒が適切な学習環境の下で学習に取り組むことができるよう、ICT環境の整備に積極的に努めていきます。

◎建設業における熱中症対策の更進一步進んだ対策について
公明党 薬丸 潔

Q 適切な施工管理を行うための具体的な基準を策定し、工期延長や経費の加算、サマータイム制の導入など、より一歩進んだ対策が必要と考えますが、県の見解を伺います。

A 冷房を備えた作業員休憩所の設置などは、昨年度から経費の加算ができるようになりまし。また、高温が続く場合は工期を延長するよう、今年度、県の機関や市町村に通知しています。サマータイムの導入や現場の作業中止基準は、県内建設業者の意見を聞きながら検討していきます。

9月25日（火）

◎知事の3期目の公約の主な数値目標である、1人当たりの県民所得について
自由民主党 織田 俊幸

Q 平成24年度の約290万円から平成31年度には315万円とする目標ですが、達成できそうか伺います。

A 県民所得は、各県の経済力を示す指標として広く使われています。目標の達成に向けて、重点施策として、群馬コンベンションセンターの整備、農畜産物の輸出、7つの交通軸の整備を始めとする社会基盤整備などを推進してきました。直近の統計である平成27年度の県民経済計算では、314万5千円となっており、目標は達成可能と考えています。

◎的外れな土木事業の抜本的な見直しについて
日本共産党 伊藤 祐司

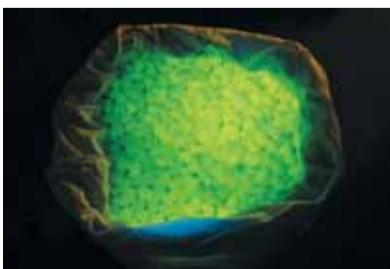
Q 減り続ける水需要のもとでのダム建設や、交通量減少が顕著な地域の自動車専用道路の整備など、的外れな予算であると考えますがいかがでしょうか。

A 社会資本整備の推進に当たっては、本県を取り巻く状況の変化、時代や社会からの要請、地域ニーズなどを踏まえ、常に社会資本整備のあり方を検証しながら推進しており、的外れな土木事業を展開しているとは考えていません。今後も、常に社会資本整備のあり方を検証しながら、しっかりと取り組んでいきます。

◎遺伝子組換えカイコについて
自由民主党 岸 善一郎

Q 遺伝子組換えカイコに関するこれまでの実績と、今後の実用化に向けた取組について伺います。

A 蚕糸技術センターでは国との共同研究で、昨年10月、緑色に光る蛍光シルクを生産する遺伝子組換えカイコの農家飼育を世界で初めて実現させました。今後は、青く光るシルクや強く切れにくいシルクを生産する遺伝子組換えカイコの大量飼育技術の開発、ヒト用医薬品の開発などに取り組みます。また、低コストな人工飼料や一年中、カイコを飼育できる技術の開発にも取り組む予定です。



生産された緑色蛍光シルク繭